

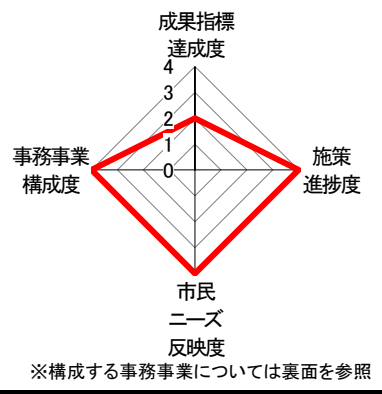
令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	1 - 1
-----	-----------	-----	-------

基	施策名	第1節 コミュニティ活動の推進	所管部署名	市民生活部	目標達成度
	まちづくり目標	第1章 ふれあい・交流・協働のまちづくり(市民交流部門)	評価責任者	中山 浩	△
	施策小項目	1 自治会活動の支援	関連部署名(1)	市民生活部市民参加推進課	
	施策小項目	2 コミュニティ活動の支援	関連部署名(2)		
	施策小項目		関連部署名(3)		
本	施策の目的	・すべての人と人が結びつき、相互に理解し深く関わりあう地域社会の実現をめざす。			市民の役割 市民と行政の役割
	施策に関する個別計画				
	行政の役割	施策名:自治会活動の支援 自治会加入促進を強化するとともに、自治会活動を支援する。 施策名:コミュニティ活動の支援 コミュニティ活動活性化のための情報を提供するとともに、各団体間のネットワークづくりを支援する。			
項	目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	(直接の対象)自治会(自治連合会)、ボランティア団体、NPOなどの市民活動団体 (最終的な対象)全市民	意図 (対象をどのようにしたのか)	・地域活動への参加者が増加し、住民間のコミュニケーションが図られることで地域の課題解決力が高まる。

No.	指 標 名 (上段) 指 標 の 性 質 (下段)	単 位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値
							(目標年度)
①	地域コミュニティ活動への参加率	%	52.4	36.5	55.4	▼	60
	増加することが良いとされる指標		H28	H30	H30		R3
②	市民活動サポートセンターの登録者(団体・個人)	団体個人	120	141	135	◎	150
	増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3
③	自治体加入率	%	73.57	70.33	80	▼	80
	増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3

施 策 の 評 価	施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価	△	施策の評価平均点	3.5
	市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった	目標達成(100%以上):◎ 目標をほぼ達成(80%~99%):○ 目標を下回る(50%~79%):△ 目標を大幅に下回る(49%以下):▼	施策評価 レーダーチャート		
	施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった				



施策に関する現状と課題

・目標達成度の指標「地域コミュニティ活動への参加率」については、目標値に達していない状況である。参加したことがない最も多い理由は「仕事や家事などが忙しくて参加する時間がないから/56.4%」、「どのような活動をしているか分からないから/36.2%」、「活動に参加しなくても生活に支障がないから/23.5%」となっている。また、目標達成度の指標「自治会加入率」についても、目標値に達していない状況である。達成状況については、市民を取り巻くやむを得ない環境によるところも大きい。地域コミュニティ活動そのものやその必要性について市民に浸透していないことが推察できる。

・当施策を構成している各事務事業はほぼ計画通り実施しており、課題として「地域コミュニティの活動や必要性」についての効果的な啓発やアプローチがあげられる。

Copyright(C)2020 Yoshikawa city office.all rights reserved

令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	1 - 2
-----	-----------	-----	-------

基	施策名	第2節 女と男が互いに認め合う社会づくり	所管部署名	市民生活部	目標達成度
	まちづくり目標	第1章 ふれあい・交流・協働のまちづくり(市民交流部門)	評価責任者	中山 浩	△
	施策小項目	1 男女共同参画の意識づくり	施策小項目	5 配偶者等に対するあらゆる暴力のない社会づくり	
	施策小項目	2 男女共同参画の環境づくり	施策小項目		
	施策小項目	3 男女共同参画推進の体制づくり	施策小項目		
施策小項目	4 男女がともに働きやすい環境づくり	施策小項目			
本	施策の目的	・すべての男女が自分らしく生きることができる社会をめざす。 ・男女がともに働きやすい社会をめざす。 ・配偶者等に対するあらゆる暴力のない社会をめざす。			市民の役割 市民と行政の役割
	施策に関する個別計画	第3次吉川市男女共同参画基本計画(平成24年度～令和3年度)			
事	目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	意図 (対象をどのようにしたいのか)	・性別による差別が解消され、誰もが自らの意思のもとに社会参画ができる。 ・DV被害に遭った時に必要な支援が受けられる。	
		全市民			

No.	指標名(上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質(下段)						
①	男女が平等であると感じる市民の割合	%	62.4	65.3	65.4	○	70
	増加することが良いとされる指標		H28	H30	H30		R3
②	審議会等委員の女性割合	%	26.6	25.4	33.3	▼	40
	増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3
③	DV防止地域サポーター数	人	46	63	73	△	100
	増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3

施策の	進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価	△	施策の評価平均点	3.5
	市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった	目標達成(100%以上):◎ 目標をほぼ達成(80%~99%):○ 目標を下回る(50%~79%):△ 目標を大幅に下回る(49%以下):▼			
	施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった	施策評価 レーダーチャート			

※構成する事務事業については裏面を参照

評価	施策に関する現状と課題	
	▼当施策を構成している各事務事業はほぼ計画通り実施しているが、次の事由により指標の目標が達成できていない。 ・指標②「審議会等委員の女性割合」については、近年、低迷しており、「庁内における周知と理解の不足」が課題となっている。そのため、平成30年度から新たに、審議会等委員の選任を年度中に行う所管課を対象に、審議会等委員の選出母体や公募委員の状況を聞くヒアリングを実施した。本評価時点では数値に表れていないが、当ヒアリング対象の審議会等においては一定の成果がみられている。 ・指標③「DV防止地域サポーター数」については、年々、登録者は増えているが目標に達していない。講座受講者のうち登録を希望しない方も多いため、サポーターの役割や趣旨を理解して頂けるよう展開していく必要がある。	

令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	1 - 3
-----	-----------	-----	-------

基本事項	施策名	第3節 平和で思いやりのある地域社会づくり	所管部署名	総務部	目標達成度
	まちづくり目標	第1章 ふれあい・交流・協働のまちづくり(市民交流部門)	評価責任者	浅水 明彦	◎
	施策小項目	1 平和意識の高揚	関連部署名(1)	総務部庶務課	
	施策小項目	2 人権教育・同和教育の推進	関連部署名(2)	こども福祉部地域福祉課	
	施策小項目	3 人権啓発活動の推進	関連部署名(3)	市民生活部市民参加推進課	
施策小項目	4 市民相談の充実	関連部署名(4)	教育部生涯学習課		
本	施策の目的	・戦争の悲惨さが理解され、争いのない平和な社会をめざす。 ・優しさと思いやりにあふれ、お互いの人権を尊重し合えるまちをめざす。		市民の役割 市民と行政の役割	平和や人権に関するイベントや研修会等に参加する。
	施策に関する個別計画				広報やリーフレットを通しての啓発や講演会・研修会等を開催し、平和・人権意識の高揚を図れるように努める。
項目	目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	意図 (対象をどのようにしたいのか)	様々な人権問題について正しい理解と知識を深め、また平和の尊さを考える。	
		全職員、全市民			

No.	指標名 (上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)						
①	差別や人権侵害のない社会であると感じる人の割合	%	75.8	77.5	77.5	◎	80
	増加することが良いとされる指標		H28	H30	H30		R3

施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進行できた	目標達成度評価 施策の評価平均点	◎ 3.5
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた		
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった		
市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた	目標達成(100%以上):◎ 目標をほぼ達成(80%~99%):○ 目標を下回る(50%~79%):△ 目標を大幅に下回る(49%以下):▼	
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった		
施策に対する事務事業の構成	<input type="checkbox"/> 構成は妥当であった	施策評価 レーダーチャート	
	<input checked="" type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった		
	<input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった		

成果指標達成度

市民ニーズ反映度

事務事業構成度

施策進捗度

※構成する事務事業については裏面を参照

評価	施策に関する現状と課題 ・人権教育・同和教育の推進及び人権啓発活動の推進について、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題に対して正しい理解と認識が深まり、差別を許さないという意識が醸成されてきている。社会全般ではインターネット上への悪質な書き込みなどによる人権問題の発生や、子どもや高齢者などへの虐待も今なお発生しており、今後も継続した取り組みが必要となっている。 ・平和意識の高揚については、戦争を体験し、継承する人が減少している中、様々な世代に戦争の悲惨さと平和の尊さを語りつづけることが必要となっている。 ・市民相談の充実については、市民が抱える様々な悩みや心配事、苦情などを気軽に相談できるように、解決の糸口を見つけ出せることが重要である。市民相談の内容は多岐にわたるため、関連機関との連携を継続・拡大していくことが必要となっている。
----	--

令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日 令和元年12月1日 No. 1 - 4

基 本 事 項	施策名	第4節 国際性豊かなまちづくり	所管部署名	市民生活部	目標達成度	
	まちづくり目標	第1章 ふれあい・交流・協働のまちづくり(市民交流部門)	評価責任者	中山 浩	◎	
	施策小項目	1 多文化共生の推進	関連部署名(1)	市民生活部市民参加推進課		
	施策小項目	2 国際交流の充実	関連部署名(2)			
	施策小項目		関連部署名(3)			
施策小項目		関連部署名(4)				
施策の目的	・外国人を含むすべての市民が暮らしやすい「多文化共生社会」をめざす。 ・外国の地域と交流することで国際的な理解が深まることをめざす。		市民の役割 市民と行政の役割	施策名: 多文化共生の推進 ・外国人も同じ地域の住民として互いに認め合い、共に地域を支え合う多文化共生意識を持ち行動する。		
施策に関する個別計画				施策名: 多文化共生の推進、国際交流の充実 ・市内在住外国人の支援及び多文化共生意識の向上を図る。		
目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	全市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	国際理解や多文化共生意識が育まれ、市内在住外国人が暮らしやすくなる。		

No.	指標名 (上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)						
①	多文化共生社会となっていると感じる市民の割合	%	59.7	66.1	63.8	◎	70
	増加することが良いとされる指標		H28	H30	H30		R3

施 策 の 評 価	施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価 施策の評価平均点 ◎ 4
	市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった	
	施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった	
施策に関する現状と課題 ▼ 指標「多文化共生に対する市民満足度」については、これまで「外国人や外国文化と触れ合える機会が十分でないと感じるから」という理由等から目標達成にとどかなかった。 ▼ そこで、平成29年度に市民からの政策提言(市民シンクタンク)により、市内で出身者が最も多いベトナムをテーマとした「吉川市ベトナムday」を開催。当事業は、地域全体に多文化共生意識が広がるよう自治会等にも協力を頂きながら進め、これを契機に「我が地域でも実施してみたい」との声が上がり、平成30年度から新たに外国出身者等の講師を派遣する「多文化共生講師派遣事業」を立ち上げた。 ▼ こうした機運の高まりにより、同指標も平成28年度/59.7%⇒平成29年度/64.5%⇒平成30年度/66.1%と年々増加し、目標達成となった。			

成果指標達成度 (0-4)

事務事業構成度

施策進捗度

市民ニーズ反映度

※構成する事務事業については裏面を参照

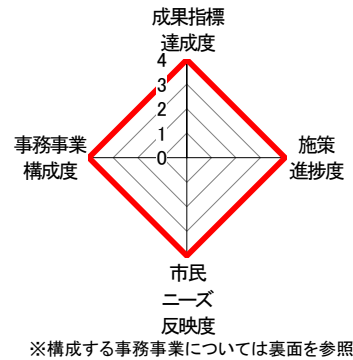
令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	1 - 5
-----	-----------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第5節 都市間交流における人づくり	所管部署名	市民生活部	目標達成度	
	まちづくり目標	第1章 ふれあい・交流・協働のまちづくり(市民交流部門)	評価責任者	中山 浩	◎	
	施策小項目	1 国内交流の充実	関連部署名(1)	市民生活部市民参加推進課		
	施策小項目		関連部署名(2)			
	施策小項目		関連部署名(3)			
施策小項目		関連部署名(4)				
施策の目的	・異なる都市、地域の文化などに触れることで、郷土への愛着を高めるとともに、人と人との交流が深まることをめざす。		市民の役割 市民と行政の役割	施策名: 国内交流の充実 ・国内交流事業への参加を通じて、他地域の文化に触れ、交流を深める。		
施策に関する個別計画				施策名: 国内交流の充実 ・友好提携都市との交流に関する情報提供や交流事業への参加の拡大を図る。 ・交流活動団体の活動を支援する。		
目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	全市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	国内交流事業への参加を通じて、他地域の文化に触れることで、郷土への愛着が高まる。		

No.	指標名 (上段)	単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)						
①	市及び交流活動団体における都市間交流事業に参加した市民の数	人/年	171	331	200	◎	200
	増加することが良いとされる指標						

施 策 の 評 価	施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価 施策の評価平均点 ◎ 4
	市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった	
	施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった	
施策に関する現状と課題 ▼当施策は、主に国内交流団体支援事業の実施により、目標値を達成している状況である。 ・吉川・室根友好協会の活動支援を行うことにより、友好提携都市である岩手県一関市と、市民を主体とした相互交流事業をはじめ、さまざまな交流を継続的に実施してきている。 ・事業運営の負担軽減や、新たな協力者の育成が課題となっている。			



施策評価
レーダーチャート

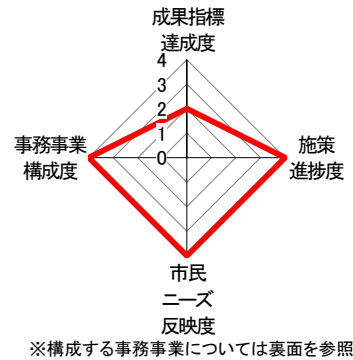
令和元年度 施策評価シート (平成29・30年度評価)

評価日	令和元年12月1日	No.	1 - 6
-----	-----------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第6節 市民参加のまちづくり	所管部署名	市民生活部	目標達成度	
	まちづくり目標	第1章 ふれあい・交流・協働のまちづくり(市民交流部門)	評価責任者	中山 浩	△	
	施策小項目	1 市民参画の推進	関連部署名(1)	市民生活部市民参加推進課		
	施策小項目	2 市民と行政による協働の推進	関連部署名(2)			
	施策小項目	3 市民活動の支援	関連部署名(3)			
施策小項目		関連部署名(4)				
施策の目的	・市民が自らの意思に基づいてまちづくりに参加できる環境と機会の充実をめざす。 ・市民と行政がそれぞれの資源や知恵を持ち寄り、一緒にまちづくりを進めていくことをめざす。 ・市民活動が活性化することをめざす。		市民と行政の役割分担の役割	施策名：市民と行政による協働の推進 ・まちづくりの主体として、自らの言動に責任を持ち、行政と共にまちづくりを進める。		
施策に関する個別計画	市民と行政との協働に関する基本指針(平成21年度～)			施策名：市民参画の推進 ・効果的な市民参画の実践と職員の意識向上を図る。 施策名：市民活動の支援 ・市民活動拠点の機能の充実を図る。		
目的	対象 (誰、何を対象にして施策を行なうのか)	全市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	・行政のパートナーとして、一緒にまちづくりを進める担い手となる。		

区分	指標名(上段)		単位	設定時の値	実績値 (年度)	目標値 (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質(下段)							
指	①	協働事業件数	%	32	35	38	△	44
		増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3
標								

施 策 の 評 価	施策の進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進行できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進行できなかった	目標達成度評価 施策の評価平均点	△	3.5
	市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった			
	施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 構成は妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 構成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 構成は妥当でなかった			
施策に関する現状と課題 ・協働事業件数については、設定時(32事業)より3事業増加しているものの、目標値(38事業)には達していない状況である。市民と行政との協働によるまちづくりは、市政運営における市民参画の推進につながるものであるため、市民と市職員に対し、情報提供と意識高揚を図ることは必要不可欠である。 ・「市民参加のまちづくり」を進める上で大切なのは、より多くの市民参画手続きを実施し、より多くの参加・意見を頂くことである。さまざまな市民参画手続きを実施する中でテーマにより参加・意見にバラつきが生じることはやむを得ないことであるが、市民参画の場を提供することに意義がある。					



施策評価
レーダーチャート

